

2026年度当初予算（案）のポイント

「子どもへ」「福祉へ」「未来へ」

～幸福度を高め、笑顔あふれるまちづくり～



令和8年度一般会計予算（案）は、前年度対比7.6%、6億6,800万円増の歳入歳出それぞれ94億5,200万円を計上しました。

歳入につきましては、町税全体では、45億1,180万4千円、前年度対比0.8%、3,599万9千円の減収を見込みました。

個人町民税については、賃金上昇の影響などにより3,993万2千円の増収を見込む一方、固定資産税は償却資産の経年減価により、5,079万2千円の減収を見込んでいます。

また、町税以外では、（仮称）屋内遊び場の整備で国庫補助金が大幅増となっております。

歳出につきましては、限られた財源の中で国県からの補助金や交付金等も活用しながら、選択と集中の考えのもと、蓮野地区多目的屋内運動場の大規模改修による（仮称）屋内遊び場の整備や高齢者タクシー助成の拡充など、「子ども」、「福祉」、「未来」への投資につながる各種事業経費を確保し、町民の幸福度を高め、笑顔あふれるまちづくりに向けた予算（案）を編成しました。

主な事業（新規・拡充など）についてお知らせします。

子どもへの投資

新規 小学校給食費 完全無償化

5028万円

※うち国庫補助 4633万円
令和8年4月からの給食費完全無償化に向け、国・県からの交付金に加え、実際の給食費との差額分395万円を町が負担することで、小学校の学校給食費の保護者負担ゼロを実現します。



小学校での給食の様子

継続 第3子以降の給食費を全額支援

240万円

通園している3歳児から中学生までの子を3人以上養育する保護者に対して第3子以降の給食費の全額支援を行います。

継続 幼・中は給食費 支援を継続

276万円

食材費の高騰により値上げが続く給食費について、無償化となる小学校を除く、町立幼稚園及び中学校の給食費の値上げ分を引き続き町が支援することで、保護者の負担軽減を図ります。

継続 私立認定こども園への支援

1760万円

建設時のウッドショック、その後の原油高の影響を受

けた物価高騰による園の運営経費の増加等に対し、充実した乳幼児の教育・保育環境を維持するため、保護者の負担軽減策として財政支援を行います。

新規 出産費用 自己負担分を助成

500万円

出産費用が医療保険から支給される出産育児一時金を上回り、自己負担をした場合、5万円を上限に助成を行います。

拡充 産後ケア 助成額を拡充

93万円

※うち国庫補助 67万円
出産後のお母さんと赤ちゃんが医療機関などに宿泊して産後ケアを利用する場合の助成額を1日1万5千円から2万1千円に増額します。

また、町の新たな事業として赤ちゃんが双子などの多胎児で、産後ケアの利用により加算料金が発生する場合は、

には、最大で訪問型が1時間1500円、通所型1日3千円、宿泊型1日5千円を助成します。

継続 0・1・2歳児の保育料減免を継続

2235万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、0・1・2歳児の保育料の半額支援を継続して行います。



遊具で遊ぶどんぐり保育園の子どもたち

新規 3〜5歳児受け入れで増築補助

1億5391万円

※うち国庫補助1億260万円
みんなの森どんぐり保育園

継続 休日保育を実施

425万円

※うち国庫補助299万円
保護者の就労等により、日曜日や祝日に家庭で保育できない子どもを対象に、みんなの森どんぐり保育園で休日保育を実施します。

継続 病児・病後児保育を継続

1225万円

※うち国庫補助 816万円
保護者の就労等により、病児又は病後児を家庭で保育できない場合に、新潟館籠病院内で一時的な保育を実施します。



新規 乳児等の通園支援を開始

39万円

※うち国庫補助34万円
保育所等に通っていない0歳6か月から2歳までの子どもを対象に、保護者の就労要件や理由などを問わず時間単位で柔軟に保育所等を利用できる新たな通園制度を実施します。

継続 介助員の配置

9060万円

幼・小・中学校において、担任一人では手が届かない個別のニーズに対し、学習と生活の質を保障するために介助員を配置します。

継続 放課後の安全安心

充実した居場所づくり

1259万円

※うち国庫補助288万円
子どもが安全で安心して利用できる放課後の居場所として、小学校内に放課後子ども教室を設置し、学習指導者及び統括コーディネーター等を配置します。

拡充 就学援助費の拡充

修学旅行費全額支給

2015万円

※うち国庫補助62万円
経済的に困りのご家庭への就学援助について、修学旅行費の上限額を撤廃し、全額支給します。

継続 障がい児保育を

支援

1320万円

障がい児の福祉向上を図るため、介助を必要とする園児に対し、私立園が保育士または介助職員等を配置した場合、園に対して人件費相当額を補助します。

拡充 外国語教育の充実

1230万円

英語指導助手2名体制の継続と、中学3年生を対象としていたAI英会話システムのうち、音読プレゼン練習機能を全学年に拡充します。また、英語によるコミュニケーションへの意欲を高め、英国文化を体験できる「ブリ

ティッシュヒルズ」でのイングリッシュキャンプを継続します。



聖籠中学校での英語授業の様子

拡充 小中学生検定料

全額補助へ

54万円

小中学生の英語・漢字・算数・数学検定の検定料を半額補助から全額補助とし、家庭の経済負担を解消すること

で、費用を気にせず子どもたちが自らの可能性に挑戦できる環境を整備します。

継続 学豆堂

コース別学習の継続

103万円

※うち国庫補助8万円
自学自習、英語基礎定着、数学対策、検定チャレンジなど目的に合わせてコース別に学習ができ、分らないことを気軽に質問できる学豆堂を継続します。

継続 登下校支援

2529万円

遠距離から通う小学生の登下校のバス運行と中学生の冬季間のバス運行を継続します。

新規 スクールバス入替

2500万円

小学生の遠距離通学用のスクールバス1台を老朽化に伴い入れ替えます。

継続 水泳技能向上へ

小学校プール委託継続

1411万円

小学校の水泳授業の民間委託を継続実施し、水泳のプールの指導による児童の水泳技能向上、屋内プールでの安定した授業実施、また、教員のプール維持管理業務の負担軽減を図ります。

継続 中学校部活動の地域展開

768万円

※うち国庫補助246万円
中学校部活動の段階的な地域展開を目指し、生徒がスポーツ・文化芸術に親しむ活動の機会を確保します。



中学校部活動の様子

福祉への投資

拡充 高齢者タクシー

助成券増額・交付枚数は最大48枚に

18883万円

75歳以上の運転免許を保有していない方への移動支援であるタクシー利用助成券について、タクシー運賃の値上に伴い、券単価を700円から800円に、交付枚数は年間最大36枚から48枚に拡充します。

拡充 福祉タクシー

利用助成等を拡充

689万円

障がいのある方に交付する福祉タクシー利用助成券と自動車燃料助成券の1枚あたりの助成額を700円から800円に増額します。また、交付枚数もタクシー利用助成券は年間最大36枚から48枚へ、自動車燃料助成券は年間最大18枚から24枚に拡充します。

拡充 75歳以上の人間ドック助成を拡充

90万円

町民の健康維持・増進を図るため、75歳以上の方と、障がいを持つ65歳以上の後期高齢者医療制度加入者が人間ドックを受診する場合の助成額を1万円から1万8千円に拡充します。

継続 長寿を応援

給付金を支給

2211万円

長寿を祝い、高齢者がその人らしくいきいきと暮らせるよう、70歳以上の方へ給付金を支給します。

新規 聖海荘deぼかぼか健康教室をスタート

43万円

※うち国庫等補助28万円
高齢者の新たな活動の場のひとつとして、毎月、聖海荘で理学療法士の指導のもと、せいろう元気アップ体操(※)を通じた健康運動教室を実施し、高齢者の運動の習慣化とフレイル予防を促進します。

※理学療法士監督による町オリジナルの体操



聖海荘での体操活動の様子

拡充 パワーアップ教室の定員拡大

219万円

※うち国庫等補助141万円
運動、栄養指導、口腔ケアに関するプログラムを3ヵ月間の短期集中で行うパワーアップ教室の定員を、6人から10人に拡大し、より多くの高齢者の生活機能の維持・改善を図ります。

新規 認知症初期

集中支援チーム配置

9万円

※うち国庫補助6万円
認知症が疑われる方やその家族へ支援を行う「認知症初期集中支援チーム(認知症専門医、医療・介護専門職で構成)を配置することで、早期の判断と早期対応に向けた訪問活動や助言を行います。

拡充 リハビリ専門職が

高齢者健康づくり支援

54万円

※うち国庫等補助34万円
リハビリテーションなど専門職と連携して、自主的に体操を行う団体の活動支援やパワーアップ教室卒業者の体力確認に加え、定期的に聖海荘で講座を開催することで、高齢者の健康づくりを支援します。

継続 元気に！健康に！

長寿支援事業を推進

943万円

※うち国庫等補助718万円
いきいき健康体操(指導者の派遣)、らくらく教室・男の運動教室、聖海荘deお茶の間(聖海荘の無料開放)など高齢者の長寿を支援する様々な事業を実施します。

継続 在宅介護

介護者に手当支給

510万円

在宅介護費用の負担軽減として、要介護3以上の方と同居し介護をされている方に介護者手当を支給します。

拡充 非課税世帯の

エアコン設置助成を拡充

100万円

在宅時の熱中症予防のためにエアコンの無い非課税世帯を対象としていた設置助成制度を、故障によりエアコンが無くなった場合の買い替えも対象となるよう拡充します。

未来への投資

新規（仮称）屋内遊び場整備
9年度オープンへ

8億1766万円

※うち国県補助 4億298万円

工事種別ごとの予算計上額

工事種別	予算計上額
本体工事	7億5,361万円
既存施設修繕	2,339万円
外構工事	4,066万円
合計	8億1,766万円



令和9年度のオープンを目指す（仮称）屋内遊び場イメージ図

（仮称）屋内遊び場は、大型遊具のエリア、乳幼児など成長に応じて遊べるエリア、多様な学びと体験ができる創作・工房スペース、親子の交流・子育て相談のスペース、全世代が利用できるウォーキングコースや健康器具の配置など、子どもたちの遊び場だけでなく、高齢者が気持ちよく散歩できる健康づくりの場として、子どもたちとの交流の場として、加えて、全館冷暖房完備により有事の際の避難所施設としての機能も備えています。

また、町外からの利用者も多く見込まれることから、町の玄関口として町のPRや特産品の紹介、販売、観光施設への誘導など、町の活性化にもつながる多目的な活用が可能な施設となります。

継続 暮らし応援事業

5000万円

地元経済支援と人口増加策としての移住・子育て支援など総合的な施策として、住宅取得、リフォーム、空き家の活用などをされる方に補助を行います。



新規 避難生活環境改善へ

8558万円

【繰越事業】

※うち国県補助 439万円
避難生活環境を改善するため、暑さ・寒さ対策に係るスポットクーラーやジエツトヒーター、ファイバシー確保としてのテント式パーティションなどの防災資機材を購入します。平時は防災訓練や小中学校の防災教育に活用することで防災力向上を図ります。

新規 農業経営安定化

収入保険加入を支援

200万円

異常気象や物価高騰など、

農業者の様々なリスクから経営の安定を図るため、収入保険加入に係る保険料（保険料＋付加保険料）の2分の1（上限10万円を2年間）を支援し、保険加入の促進を図ります。



拡充 雨除けハウス

更新補助率一律40%に

562万円

※うち国県補助 242万円
雨除けハウス更新に係る補助率について、これまでは農業者の状況により30%と40%の二つのパターンがありました。一律40%とすることで農業者の営農継続への支援を行います。

新規 消雪井戸設置

網代浜居浦浜山線

3805万円

※うち国県補助 1560万円
網代浜居浦浜山線に消雪井戸を設置します。

継続 別條1号線・寺島網代浜線を改良・舗装

5518万円

※うち国県補助 3697万円
別條1号線と寺島網代浜線（寺島地内）の道路改良・舗装工事等を実施します。

継続 寺島網代浜線を

路線測量

1123万円

寺島網代浜線（山倉地内）の路線測量を実施します。

継続 藤寄・正庵地区の

配水管を耐震管に

5154万円

老朽化した上水道の配水管を地震に強い耐震管に入れ替えます。

継続 藤寄地区の冠水

解消に向けて設計を継続

1427万円

藤寄地区の集落内道路の冠水を解消するため、令和7年度の詳細設計に引き続き、工事の実施に向けた設計書作成及び下水道本管移設設計を行います。

新規 小学校体育館に

冷暖房設備を設置

【緑越事業】

2億6357万円

※うち国庫補助1億2900万円
小学校体育館での授業やイベント時における熱中症対策を含めた環境整備と、避難所機能の強化を目的として、各小学校の体育館に冷暖房設備を設置します。

新規 リチウムイオン

電池などの収集開始

10万円

リチウムイオン電池を始めとする小型充電式電池及びそれらが使用された小型家電製品の収集を開始します。町民会館及び亀代地区多目的屋内運動場に収集容器を設置します。

新規 防犯灯LED化へ

134万円

温室効果ガスの排出抑制と電気料金の削減を図るため、町管理の防犯灯を令和8年度からLED化します。
※集落管理の防犯灯のLED

D化は、今後、集落区長と相談して進めます。

更新 除雪車購入

4699万円

※うち国庫補助2793万円
老朽化した除雪ドーザーと小形除雪車を購入します。



令和7年度に導入した小形除雪車

拡充 東山団地

新規入居者に

エアコン等設置

1566万円

入居者の快適な居住環境を確保するため、共用部照明のLED化と新規入居者に対してエアコン等の設置を行います。

その他の事業

新規 ハピチケを配付

【緑越事業】

9068万円



※うち国庫補助7566万円
物価高騰による町民生活の負担軽減と、町内における消費を喚起することで事業者を支援するため、ハッピーチケット町民一人5千円(食料品支援特別加算含む)、子ども加算一人5千円を4月中旬頃に配付します。

新規 物価高騰対策

小規模事業者等を支援

【緑越事業】

4000万円

※うち国庫補助1000万円
物価高騰の影響を受けた町内小規模事業者等の支援を行います。補助金の支給額要

件は、令和7年と令和6年の一年間の比較で売上高が減少していること、燃料費、原材料費、光熱水費の経費の合計が増加していること、このいずれかの要件を満たした場合に個人事業主は10万円、法人は20万円を支給します。農業者については、耕作面積10アール当たり1万円で、小規模事業者同様個人は限度額10万円、法人は20万円を限度に支給します。

拡充 県信用保証協会

保証料の補給対象を拡充

1388万円

町内中小企業者が貸付を受けた際、新道信用保証協会に支払う信用保証料への一部補給対象に、これまでの町制度融資に加えて小規模企業者カードローンを追加し、町内中小企業者の経営安定を支援します。

聖籠町公式SNS



LINE

登録はこちらから



X (旧Twitter)



お問い合わせ

聖籠町役場 ☎27-2111 (代表)

●当初予算案に関する事 総合政策課 財政係 (内線262)

●広報せいらうに関する事 総務課 広報広聴係 (内線222)